



カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・丸紅グループのコンプライアンスマニュアルの遵守事項として、事業活動において生物多様性及び生態系の保護に努めなければならない旨を明記している。						6.6								15				
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・毎週水曜日に廃棄物を集計し、リサイクル率を社員に共有する事でリサイクル意識を高めている。 ・再生紙等のリサイクル製品を使用している。												12.5 12.8						
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ																					
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			・2005年度よりエコアクション21を取得、継続している。						6.3	7.2 7.8					12.5	13.3		15			
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ																					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ																					
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ																					
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・丸紅グループのコンプライアンスマニュアル及び反贈収賄ハンドブックにて、贈収賄を禁止する旨を明記している。																16.5		
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・丸紅グループのコンプライアンスマニュアルにて、不正競争を禁止する旨を明記している。																	16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・丸紅グループのコンプライアンスマニュアルの遵守事項として、他人が所有する知的財産権を侵害してはならない旨を明記している。									8.2									
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・丸紅グループのコンプライアンスマニュアルにて、個人データは正当な理由なく第三者に提供してはならず、不正侵入、紛失、改ざん、漏洩等がないよう、個人情報の保護に関する法令その他の規範を遵守し厳重かつ適正に管理しなければならない旨を明記している。																	16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																					
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ																					
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			・丸紅株式会社にて2021年9月17日よりパートナーシップ構築宣言を作成・公表している。													9	10.2			16.5	17

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (※などの取得証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																	
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・丸紅グループの「サプライチェーンにおけるサステナビリティ基本方針」において、商品・サービスの安全性を確保する旨を明記している。												7.1										12.2												
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・丸紅グループの「サプライチェーンにおけるサステナビリティ基本方針」において、商品・サービスの品質を確保する旨を明記している。												7.1			9																			
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ																																					
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ																																					
33	【地域への配慮】 ・自事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・発電事業を通じて、自治体や周辺地域に根差した取り組みを進め、地域への影響を把握し、改善に努めている。												7					11	12	13													17		
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ																																					
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外販）している	チャレンジ																																					
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有している	基本			・定期的に全社員会を開催し、経営理念及び経営目標を社内共有している。												8					10.2																	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・丸紅グループでは「正義と利益のどちらかを取らねばならない状況に遭遇したら、迷わず正義を貫け」を道標として語り継ぎ、各種法令の遵守を呼び掛けている。																																16.5 16		
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・丸紅グループでは、サステナビリティへの取り組みに関する方針や施策を討議するサステナビリティ推進委員会、地球環境に配慮した経営を目指す環境委員会を設置している。																																13 16.6		
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本			・丸紅グループは、ステークホルダーの意見に常に耳を傾け、ともに考え歩を進めていくことが重要であると認識し、顧客、株主、地域社会、社員の各方面と対話するよう努めている。																																16 17		
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																																					
41	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																																					
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ																																					
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ																																					

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																							

**【記載留意事項】**  
 ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)  
 ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。  
 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認定制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成  
 ○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は赤字で番号を記載  
 ○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載  
 ※1...組織の社会的責任に関する国際規格 ※2...労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定